

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
Serve to Change Lives

2021-22年度 RI会長／シェカール・メータ
RI.D2590ガバナー／小倉 正
横浜旭RC会長／北澤 正浩

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈



横浜市へ医療機器支援



旭ふれあい区民まつり

2022年3月16日 第2455回例会 VOL. 53 No. 17

- 司会 副SAA 岡田 隆
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	22名	本日の出席数	16名
本日の出席率	76.19%	修正出席率	84.21%

- オンライン出席者
五十嵐、佐藤真吾、宋

- 本日の欠席者
平子、中谷、福村、東谷

- 誕生日祝
佐藤利明会員
3.23



- 皆出席祝い
増田会員
(32年)



- ポールハリス
フェロー表彰
(PHF1)
田川会員



- 会長報告

皆様、こんにちは。今週から寒さも和らぎ、過ごしやすい季節となつてまいりました。

弊社に植えてある桜の木のつぼみもふくらんできました。東京の開花予想は3月23日頃ということなので、今から楽しみです。

さて、先週の3月11日で東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故の発生から11年が経ちました。各地で犠牲者を追悼する式典が行われ、皆様の中でも発生した14時46分に黙とうや手を合わせた方もいらっしゃるかと思います。

私も震災について、毎年この時期に振り返るのですが、あのときの激しい揺れや、テレビから流れる津波の悲惨な映像、さらに福島第一原子力発電所が爆発した時の絶望感が記憶として鮮明に残っています。あの時の日本は本当に国家的な危機だったのだと思います。

私の机の引き出しに、震災当時に購入した週刊誌が入っています。震災直後で内容もかなり混乱した記事が多いです。普段は週刊誌に興味を持たないのですが、なぜか雑誌の表紙に書いてある「日本を信じよう」という言葉が当時の自分の心に刺さるものがあったので手にしました。週刊誌の言葉で心を動かされたのは今思うと恥ずかしいのですが、当時は本当に日本の将来が心配で、追い詰められていたのだと思います。



11年という月日が経ち、私はこうして普通に生活していますが、多くの犠牲者のことや、今でも復興に尽力していただいている方々のことを忘れてはいけないと思います。当クラブでは、岩沼ロータリーを通じ、被災地への支援活動を続けていますが、同時に震災の記憶を風化させない為に語り継ぐ活動を続けることも重要なことだと思います。

■ニコニコBOX

安藤 公一／新川さん、本日の卓話宜しく願います。

新川 尚／皆様、聞きあきたポリオの話です。宜しく願います。

田川 富男／①新川さん、陰性おめでとうございます。②「ポリオについて」色々教えてください。③ポールハリスフェローをいただきましてありがとうございます。

岡田 隆／新川さん、本日の卓話よろしく願います。

北澤 正浩／新川さん、卓話宜しく願います。今年度複数回も卓話をお願いして申し訳ございません。クラブ会員が少ないので仕方がないのですが、できましたら、他の会員の皆様も卓話へご協力をお願いいたします

市川 慎二／新川さん、卓話宜しく願います。

二宮 登／新川さん、今日の卓話楽しみにしています。

内田 敏／新川さん、本日は卓話よろしくお

願いたします。

佐藤 利明／新川さん、卓話よろしく。

増田嘉一郎／皆出席祝いをいただきました。もう少し頑張れそうです。

■卓話「ポリオの現状について」 新川 尚



▶「ポリオとは？」

主に5歳未満の幼児が罹患し、小児麻痺と呼ばれる。感染者の多くは無症状で終わるが、一部の感染者に終生麻痺が残り、麻痺障害を治療で治すことは不可能である。

ワクチンの効果が絶大であり、ワクチンの接種により予防することができる。広く生ワクチン(OPV-口からの摂取)の接種が行われてきたが、希ながらワクチン関連麻痺が発生することがあるので、最近は、不活化ワクチン(IPV-注射による接種)が使われている。

▶ポリオプラスとは

ポリオを地球上から追放する目的のロータリー財団の事業。プラスとは、ポリオのほかハシカ、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳の5つの主要伝染病をプラスして同時追放を目的としているという意味。

しかし、このプラスは最初の頃と意味が変わり、現在は、世界的なポリオ根絶運動がもたらした遺産のことを指している。

▶「日本におけるポリオ」

1960年には北海道を中心に5606名の患者が発生する大流行。

1980年に野生株によるポリオ感染がなくなり、以後は、OPV(生ワクチン)からしか発症していない。

2012年(H24年)9月から、生ワクチンの予防接種が中止され、生後3ヶ月から18ヶ月の乳児に対し、不活化ワクチンの定期接種が行

われている。(厚生労働省のホームページ)

▶「国際ロータリー (RI) の取り組み」

RIは1985年ロータリー創立80周年を期にポリオ・プラス計画を開始。

1988年、世界保健機関(WHO)などと共に、世界ポリオ根絶推進計画(Global Polio Eradication Initiative: GPEI)に取り組んできた。

RIは、1995年の規定審議会において、ポリオ根絶がロータリークラブの第一目標であると決定した。

▶「世界ポリオ根絶推進計画(GPEI)のパートナー組織」

・世界保健機関(WHO): GPEIの実施と管理を担当。

・米国疾病対策センター(CDC): 疫学者等を用い、ポリオの調査を担当。

・ユニセフ: ポリオワクチンの購入と分配のほか、認識向上運動を担当。

・ビル&メリンダ・ゲイツ財団: 最高額の19億ドルを提供。ロータリーが集めたポリオ根絶への寄付に2倍の額を上乗せする支援も行っている(My Rotary)

▶「ポリオの現状(世界)」

1年間、発症が見られないと常在国リストから外れ、3年間、発症が見られないと根絶(宣言)。

- ・日本 1982年根絶
- ・南北アメリカ 1994年根絶。
- ・西太平洋 2000年根絶。
- ・ヨーロッパ 2002年根絶。
- ・インド 2014年根絶。

残りは、アフガニスタン、パキスタンの2カ国。

▶「ポリオの現状(3カ国)」

ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの2カ国。

ナイジェリアは、2016年8月~11月に4人の発症が報告されたが、2017年の発症はゼロ、2018年の発症もゼロで、ポリオ常在国リストから外れた。

2020年8月根絶宣言が出された。

▶「ポリオ根絶を阻むもの」

同時多発テロ事件の首謀者、オサマ・ビンラ

ディン容疑者がパキスタンに潜伏していましたが、2011年、突入してきたアメリカ軍の部隊によって、その場で殺害されました。

作戦にあたり、アメリカの情報機関は、ポリオワーカーにふんした協力者を、ビンラディン容疑者の潜伏先に接近させ、特定に至る手がかりを得たとされています。

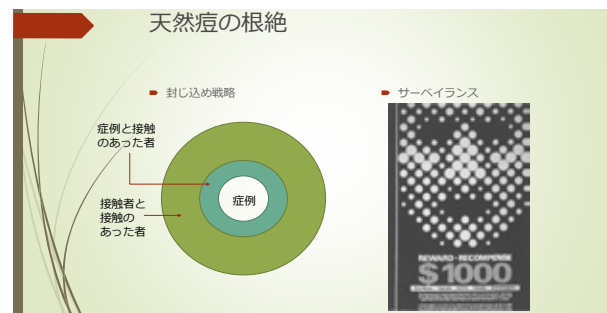
こうした背景から、パキスタンでは、ポリオワクチンの接種キャンペーンは「外国のスパイ活動の一環だ」という、陰謀論が根強い。

また接種すると、将来、男の子は性的に不能になり、女の子は不妊症になりやすいといったうわさが一部で根強く信じられ、拒否する家庭が後を絶たない。

接種を拒否した人数は、前回のキャンペーンでは全国で10万人余りに上った。

うわさについてパキスタン政府は、「根拠がない」と打ち消しに努めていますが、キャンペーンを担当する高官は、人々の理解を得るのは簡単ではないと認めている。

アフガニスタンでは症例が出た場所を細かく見ていくと、南部と東部の非常に限られた場所でのしか発生していない。国土の96%ではポリオ症例数が0件(2018年)に抑えられている。



▶「ポリオの現状」

◎アフガニスタン、パキスタンの症例数

2018年	A21、P12	合計 33
2019年	A29、P147	合計 176
2020年	A56、P84	合計 140
2021年	A 4、P 1	合計 5
2021年	A 1、P 0	合計 1

◎2020年1月22日

ロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団はポリオ根絶に、年間1億5千万ドルを投入するための長期パートナーシップを継続することを発

表しました。この提携の下、ロータリーは今後3年間、毎年5千万ドルを拠出することを目標に掲げ、ゲイツ財団がロータリーの拠出金に対して2倍額を上乗せすることとなります。

◎これまでワクチン接種に反対していたイスラム主義勢力タリバンも、今回は一転して国連を支援し、ポリオの根絶を目指す方針を示している。

◎アフガニスタンでのポリオの根絶を目指し、WHOとUNICEFは2021年11月8日から4日間、大規模なワクチンの予防接種を全土で実施しました。首都カブールでは、朝から接種にあたるスタッフが市民の住宅を訪問し、子どもにワクチンを接種して回りました。タリバンは旧政権時代からワクチン接種は「西側の陰謀だ」などとして、攻撃の対象としてきましたが、今回は一転して支援を表明し、地域によっては安全確保のため戦闘員が同行した。

◎2020年5月14日

カナダ政府は世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)の最終戦略への支援として、4750万カナダドル(約36億5千万円)を4年間にわたり毎年拠出することを発表しました。また予防接種の普及に取り組む「GAVIワクチンアライアンス」への資金提供についても、次回の増資を待たずに期間を延長しました。

◎2020年8月25日

世界保健機関(WHO)は、WHOアフリカ地域の全47カ国において野生型ポリオウイルスの伝播が正式に断ち切られたことを発表しました。

▶「ポリオ根絶まであと一歩。」

紛争や宗教上の理由で、ワクチン接種が非常に困難な地域もある。

パキスタンでポリオワクチンの接種を行っていたポリオワーカーが2015年9月末までの20ヶ月間に80人も殺されたという衝撃の報告もある(「ロータリーの友」2016年10月号15頁)。

しかし、ここで諦めてしまえば根絶はできない。根絶できなければ、更に毎年8億ドルの資金が必要。

あれほど猛威を振るった天然痘も1980年に根絶された。

●寄付のお願い

GPEIはポリオの根絶のためには、新たに15億ドルの資金が必要と試算、ロータリー財団は、ゲイツ財団と共に今後3年間で4億5000万ドルの資金援助をする予定。

昨年度に引き続き、会員1人あたり、30米ドル以上の寄付をお願いします。

ポリオの撲滅という歴史的偉業に参加出来るチャンスです。会員増強に結びつけてください。

●予算配分の実例

(2020-21年度地区補助金の場合)

DG	申請種別	ドル(\$)	円レート(¥)	支給金額
		127,400	107	13,631,806円
プロジェクト名称	詳細内容	ドル(\$)	円レート(¥)	支給金額
クラブ奉仕	21クラブ	46,400	107	4,964,800円
① 地区奨学生	田中 真琴(イギリス)	27,000	107	2,889,000円
② 地区奨学生	新倉 梨加(アメリカ)	27,000	107	2,889,000円
新型コロナ感染	医療機関・クラブへフェイスシールド配布	25,000	107	2,675,000円
計		125,400		13,417,800円
差額計	管理費(運送など)	2,000	107	214,000円

●ロータリー財団に関する質問・疑問

①ロータリー財団の資金(寄付)は投資も行ってると聞きましたが、実績はどのようになっていますか?

➡投資実績ですが、2017年度は年次基金が年利11.6% 過去5年間でも通期で6.5%、恒久基金は年利13.5%、過去5年間通期で7.7%を維持しています。

1998年からの通年(21年間)では平均5.0%という投資実績をもちます。この投資利益を寄付金に還元してプログラムは実行されているのです。(景気動向により一時的なマイナスはありますが長期投資においては確実な資金運用を行っています)

②ロータリー財団の資金(寄付)は、プログラムにどれくらい使われているのですか?

➡2017-18年度は、皆様から集められた寄付金の約92%が慈善事業のプログラムとして使用されております。ロータリー財団の一般管理運営費は1.52%でその割合は他の財団と比較しても特筆すべきものであり、チャリティーナビゲーター(奉仕団体の格付け団体)からも11年連続で4つ星の最高評価を頂いております。

■次回卓話/3/30 休会 4/6 中谷会員